

116 留学生入江陳重他一名を東京大学法学部教員に採用の件

問合

〔明治十四年一月十一日〕

〔朱書〕  
〔甲第五号〕

兼而御内議致置候通兼而同省より独乙国エ留学被命置候入江陳重ヲ来学年ノ始メヨリ法学部ニ採用并米国エ留学被命置候桜井錠ニヲ同時ヨリ化学教員ニ採用致度就而ハ右ハ預メ本人エ申遣（欄外注記1）諾否ヲ聞置不申候而者不都合不少ト存候ニ付而ハ此節拙者ハ右兩人エ照会致候而も御不都合之義ハ無之哉此段御問合申候条至急御答有之度候也

明治十四年一月十一日

東京大学三学部綜理 加藤弘之

文部省官立学務局長 濱尾 新殿

〔欄外注記1〕

「取消シ更ニ十号ヲ以文部卿宛ニ而差出シ」

〔文部省往復〕明治十四年度、㊟A39〕